



馬印青梅情報 2024年第1号

2024年3月13日発行

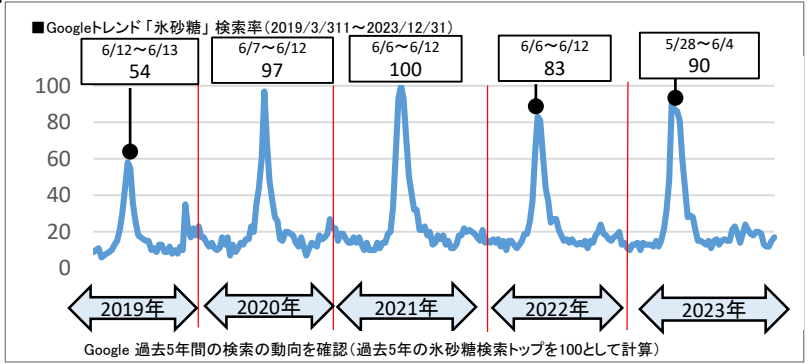
コロナ明けでも堅調に増える手仕事需要

今年も梅の時期が近づいてくる。梅の収穫は、前年より少し遅い傾向にある。これは、冬場の寒害や、開花後の気候が大きく関わっている。梅は自家受粉出来ず、蜂の授粉が必要。その影響を大きく受ける。気温が12度以上、風速3m以下で雨が降っていない状況だと、蜂の活動が活発になる。開花後の気候が大きく関わってきます。

【開花状況】暖冬の影響があり、地域により、開花時期は例年より少し遅い傾向にある。これは、冬場の寒害や、開花後の気候が大きく関わっている。梅は自家受粉出来ず、蜂の授粉が必要。その影響を大きく受ける。気温が12度以上、風速3m以下で雨が降っていない状況だと、蜂の活動が活発になる。開花後の気候が大きく関わってきます。



梅の受粉とミツバチの関係



和歌山の梅の状況

【蓄】着蓄(ちやくくらい)数調査の結果は、過去10年平均よりも減少しています。今年も開花、受粉、果実肥大、生理落果などの要素があり、最終的に実として収穫される量は10%前後です。気温、風速、降水量等の気象条件に左右される為、現時点で明確な予測は出来ません。

【開花状況】暖冬の影響があり、地域により、開花時期は例年より少し遅い傾向にある。これは、冬場の寒害や、開花後の気候が大きく関わっている。梅は自家受粉出来ず、蜂の授粉が必要。その影響を大きく受ける。気温が12度以上、風速3m以下で雨が降っていない状況だと、蜂の活動が活発になる。開花後の気候が大きく関わってきます。

【写真】2月27日撮影。(みなべ町)

青梅収穫情報判断の参考

中日本水糖株式会社

年度	結果樹面積 (ha)	梅収穫量 (t)	冰糖出荷高 (t)	気象情勢		満開時期						備考			
				温暖○				和歌山県							
				1月	2月	3月	4月	1月	2月	3月	1月		2月	3月	
2018年	14,800	112,400	15,008	◎	◎	○	○							中旬	豊作型
2019年	14,500	88,100	14,899	○	○	◎	◎							中旬	不作型
2020年	14,100	71,110	13,444	○	○	◎	◎							上旬	不作型
2021年	13,800	104,600	15,460	◎	○	○	○							中旬	豊作型
2022年	13,500	96,600	14,752	○	○	○	◎							中旬	不作型
2023年	13,200	95,000	13,924	○	○	○	○							中旬	不作型
2024年				○										上旬	

氷砂糖の販売価格

量販店様販売価格は下記を参考にご案内いたします。

希望小売価格(冰糖資料に記載)

ロック	670円
クリスタル	650円

今後とも馬印の氷砂糖を
宜しくお願い致します。

中日本水糖株式会社
URL : <https://nakahyo.co.jp/>
Instagramアカウント nakanipponhyoto

